

事務事業名	ダム湖周辺整備事業	所属部	政策企画部	所属課	ダム対策課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり<<定住環境>>	所属G	ダム対策G	課長名	西川 徹
	施策名	(05)自然環境・景観の保全	担当者名	福間 央	電話番号	0854-40-1012
	目的対象	A)自然環境・景観 B)市民 意図 A)自然環境・景観を守り創造する。B)意識を高め自然環境保護活動を実践する。	予算科目	会計 4 0 0 5 0 2 款 大 事 業 目 中 事 業 大 事 業 名 中 事 業 名	(内線)	3516
	基本事業名	(014)景観の保全と創造				ダム対策事業
目的対象	市民 意図 景観を守り、創造する活動に取り組む。				ダム湖周辺整備事業	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (21 年度 ~ 24 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
「尾原ダム地域に開かれたダム整備計画」に基づき、ダム湖周辺の整備を行う。 ・エントランス広場整備 ・農村体験施設整備 ・植栽工事 ・工事分室PR館改修整備 ・その他周辺整備

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)			
		道の駅緑化工事 景石配置工事 市道修繕工事 2件 桜植栽業務 尾原ダム史跡標識設置業務	桜植栽業務			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 工事件数	件	16	7	4	0
	イ 委託件数	件	7	5	2	1
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	尾原ダム周辺地域住民(20歳以上)	ア 周辺住民	人	496	488	472	472
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
環境に配慮した施設整備に対する理解向上	ア 自然環境が守られていると感じる市民の割合	%	73.0	75.3	72.3	72.3	
	イ						
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)	
工事請負費 4,900千円	財源内訳	国庫支出金	千円	95,923			
事業委託 4,011千円		県支出金	千円	176,255	2,500		
手数料 487千円		地方債	千円		47,100		
		その他	千円	97,202	8,100	9,398	3,000
		一般財源	千円				
	事業費計 (A)	千円	369,380	57,700	9,398	3,000	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	2	
		延べ業務時間	時間	1,388	1,388	924	
		人件費計 (B)	千円	5,397	5,471	3,620	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	374,777	63,171	13,018		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
施設整備の進捗により、管理へ移行しつつある	施設の早期完成と、活用、管理に関する協議に労力を割いた	①整備施設管理に対する地元団体の活用②道路法面の維持管理

事務事業名	ダム湖周辺整備事業	所属部	政策企画部	所属課	ダム対策課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 ・成果を上げるべく事業を行っている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 ・周辺整備を行うことを前提に尾原ダム事業が進められており、周辺地域の地域づくりに不可欠であり廃止、休止できない
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	理由 ・ダム湖周辺整備に特化した事業であり、類似事業が存在しない。
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 ・整備箇所を厳選し、なおかつ事業費を大幅に削減した計画で進行しており、これ以上の削減は不可能。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
D 公平性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 ・国、県及び市で相互連携、業務分担して行っている事業であり、かつ、尾原ダム完成に向け関係機関調整業務が増大しており、削減は困難。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 ・尾原ダム周辺地域に限定した事業であるが、山陰最大規模の尾原ダムを活用した観光、スポーツ等の拠点施設として整備することは観光資源として活用することにより雲南市全体の交流人口増加に繋がるため適正である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・ダム建設が最終段階に入っており、地域住民の理解を得ながら、関係機関との調整を行い、事業促進を図った。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
周辺住民の理解や協力を得ながら整備を進める	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		